

三条商工会議所景況調査概況

【平成23年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した11月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

■ 調査対象：＜全国＞全国414商工会議所が2,846業種組合等にヒアリング。回答数1,469件
＜三条地域＞会議所会員事業所168社を対象にアンケート調査。回答数111件

■ D I 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

【全国の業況】

11月の景況をみると、全産業合計の業況D I（前年同月比）は▲35.5（前月比－1.2ポイント）となり、マイナス幅は2カ月ぶりに拡大した。産業別にみると、業況D Iのマイナス幅は、卸売業、サービス業は縮小したものの、他の3業種は拡大した。

全国の11月産業別業況

【建設業】

採算D I、資金繰りD I、仕入単価D I、業況D I、売上D I、従業員D Iいずれもマイナス幅が縮小した。

「型枠大工、鉄筋工など専門業者が被災地の復旧・復興工事に流れ、地元の建設労働者が不足しているため、賃金が上昇し、採算が悪化」（一般工事業）、「住宅エコポイント制度の再開による住宅着工件数の増加を期待」（建築工事業）、「12月からコンクリートの価格が1トンあたり1000円値上がりするため、採算の悪化を懸念」（土木工事業）

【製造業】

売上D I、採算D I、資金繰りD I、仕入単価D Iはマイナス幅が縮小、業況D I、従業員D Iはマイナス幅が拡大した。

「急激な円高により、ドル建て取引を行っている香港向けの輸出で2億円の為替差損が発生」（計量器・測定器製造業）、「取引先が生産拠点を中国に移すため、来年1月から受注がなくなる。月300～400万円程度売上が減少する見通し」（自動車部品製造業）、「生活再建需要により、主力商品である羽毛布団の受注が増加」（織物外衣製造業）

【卸売業】

業況D I、売上D I、従業員D Iはマイナス幅が縮小、資金繰りD I、仕入単価D Iは拡大し、採算D Iはほぼ横ばいであった。

「今月は比較的天候に恵まれ、出荷・消費が活発だったことから、売上が増加」（花卉卸売業）、「金の価格が短期間で大幅に変動するため、取引先が発注を最小限の数量に抑えている」（ジュエリー製品卸売業）、「円高の影響で、取引先が生産拠点の海外移転と原材料の現地調達を進めており、経営が厳しい」（繊維品卸売業）

【小売業】

仕入単価 DI、従業員 DI はマイナス幅が縮小、業況 DI、売上 DI、採算 DI は拡大し、資金繰り DI はほぼ横ばいであった。

「11月になっても気温が高めに推移しており、防寒商品や冬物衣料の売上が伸び悩んでいる」（総合スーパー）、「福島県産の米から基準を超える放射能物質が検出されたため、売上への影響が心配」（米穀類小売業）、「円高により輸入商品の仕入価格が低下しているため、円高還元セールを実施。消費者の反応はよく、売上が好調」（百貨店）

【サービス業】

売上 DI、採算 DI、従業員 DI はマイナス幅が縮小、資金繰り DI は拡大し、業況 DI、仕入単価 DI はほぼ横ばいであった。

「旅行控えで落ち込んでいた国内旅行客の宿泊が徐々に回復傾向にある」「忘年会シーズンにおける飲食・宿泊需要に期待」（旅館）、「取引先が大規模システムの開発拠点の海外移転を加速させており、自社の受注が減少」（ソフトウェア業）

【三条地域の業況】

当地域の全業種合計の業況 DI は、H23 年度第 2 四半期(H23.7～9 月)では▲22 と H23 年度第 1 四半期(H24.4～6 月)の▲31 からマイナス幅が縮小していたが、H23 年度第 3 四半期(H23.10～12 月)では▲21 と、ほぼ横ばいであった。業種別では、建設業が▲14(前期差 30 ポイント増)、製造業が±0(前期同値)、卸売業が▲23(前期差 1 ポイント減)、小売業が▲67(前期差 11 ポイント増)、サービス業が▲60(前期差 3 ポイント減)と DI 値が建設、小売業で増加、他 3 業種ではほぼ横ばいとなっており、業況が悪いとする回答割合は減少傾向にあるが、依然として多くの業種でマイナス値を推移し、油断を許さない状況が続いている。

三条の業種別概況(平成 23 年度第 3 四半期 平成 23 年 10～12 月)

【建設業】

H23 年度第 3 四半期(以後 今期)の建設業では、業況 DI が前期差 30 ポイント増の▲14 とマイナス幅が縮小、採算 DI は前期差 18 ポイント増の▲7 となった。H22 年度第 3 四半期(以後 前年同期)比の完了工事・売上額では前期差 10 ポイント増の▲21、従業員は前期差 13 ポイント増の+7 となり、完了工事・売上額は前年同期から連続してマイナス幅が縮小しており、他項目でも DI 値は増加傾向にある。

【製造業】

製造業では、今期の業況 DI が前期同値の±0 と横ばい、採算 DI は前期差 14 ポイント増の+28 となった。前年同期比の売上額では前期差 1 ポイント増の+26 と微増、従業員は前期差 7 ポイント減の+17 となり、多くの項目で DI 値がプラス値を推移しており、好調な様子が続いている。

【卸売業】

卸売業では、今期の業況 DI が前期差 1 ポイント減の▲23 と微減、採算 DI は前期差 10 ポイント増の+26 となった。前年同期比の売上額では前期差 3 ポイント減の▲10 と微減、従業員は前期差 6 ポイント減の+16 となり、採算が増加傾向にあるが、他項目では DI 値が停滞している。

【小売業】

小売業では、今期の業況 DI が前期差 11 ポイント増の▲67 とマイナス幅が縮小し、採算 DI では前期差 22 ポイント増の▲67 となった。前年同期比の売上額は前期同値の▲67、従業員は前期差 5 ポイント減の▲18 となり、増加している項目はあるものの、DI 値は他業種に比べ低い値で推移している。

【サービス業】

サービス業では、今期の業況 DI では前期差 3 ポイント減の▲60 と微減し、採算 DI では前期差 3 ポイント増の▲40 と微増した。前年同期比の売上額は前期差 50 ポイント減の▲50、従業員は前期差 6 ポイント増の▲44 となり、売上額の DI 値が大きく減少しているが、前期が一時的に高かったのみで H23 年度第 1 四半期の▲67 に近い値に戻った結果となった。

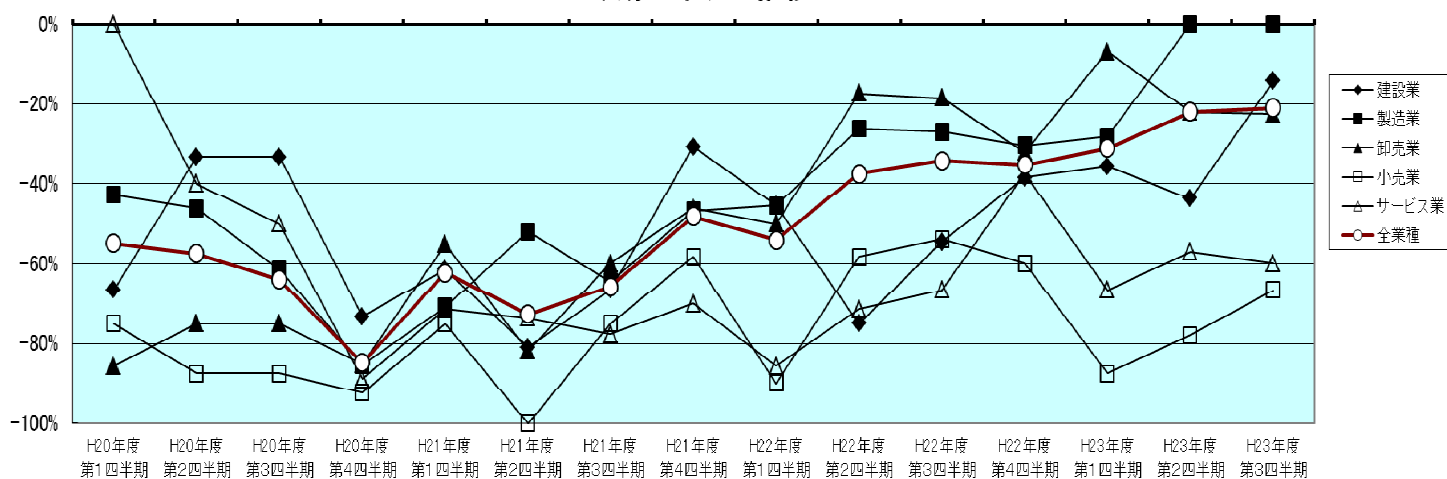
三条地域の業況 DI の推移

※DI 値＝「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」

	H20 年度				H21 年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全業種	-55%	-58%	-64%	-85%	-62%	-73%	-66%	-48%
建設業	-67%	-33%	-33%	-73%	-62%	-81%	-67%	-31%
製造業	-43%	-46%	-62%	-85%	-71%	-52%	-65%	-47%
卸売業	-86%	-75%	-75%	-85%	-55%	-82%	-60%	-46%
小売業	-75%	-88%	-88%	-92%	-75%	-100%	-75%	-58%
サービス業	0%	-40%	-50%	-89%	-71%	-74%	-78%	-70%

	H22 年度				H23 年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
全業種	-54%	-38%	-34%	-35%	-31%	-22%	-21%
建設業	-45%	-75%	-55%	-38%	-36%	-44%	-14%
製造業	-45%	-26%	-27%	-30%	-28%	0%	0%
卸売業	-50%	-17%	-19%	-32%	-7%	-22%	-23%
小売業	-90%	-58%	-54%	-60%	-88%	-78%	-67%
サービス業	-86%	-71%	-67%	-38%	-67%	-57%	-60%

今期の業況DI推移



第3四半期(平成23年10~12月)

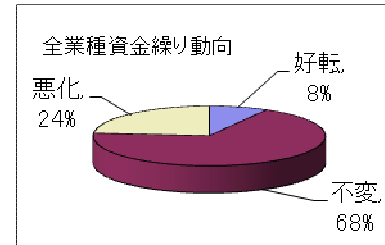
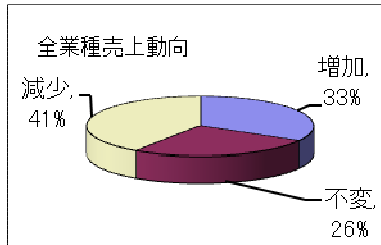
※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	37	29	45
	%	33%	26%	41%
建設業	件数	4	3	7
	%	29%	21%	50%
製造業	件数	21	12	10
	%	49%	28%	23%
卸売業	件数	10	9	13
	%	31%	28%	41%
小売業	件数	1	2	9
	%	8%	17%	75%
サービス業	件数	1	3	6
	%	10%	30%	60%

業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	9	75	26
	%	8%	68%	24%
建設業	件数	1	8	5
	%	7%	57%	36%
製造業	件数	6	30	6
	%	14%	71%	14%
卸売業	件数	2	24	6
	%	6%	75%	19%
小売業	件数	0	8	4
	%	0%	67%	33%
サービス業	件数	0	5	5
	%	0%	50%	50%



業種別採算動向（今期の水準）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	32	53	25
	%	29%	48%	23%
建設業	件数	2	9	3
	%	14%	64%	21%
製造業	件数	16	23	4
	%	37%	53%	9%
卸売業	件数	12	15	4
	%	39%	48%	13%
小売業	件数	1	2	9
	%	8%	17%	75%
サービス業	件数	1	4	5
	%	10%	40%	50%

業種別来期(H24.1~3月)の業況（今期比の見通し）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	11	47	36
	%	12%	50%	38%
建設業	件数	3	3	5
	%	27%	27%	45%
製造業	件数	4	20	14
	%	11%	53%	37%
卸売業	件数	3	16	9
	%	11%	57%	32%
小売業	件数	1	5	5
	%	9%	45%	45%
サービス業	件数	0	3	3
	%	0%	50%	50%

